

## I C T系研修コース一覧

No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
1	<b>I T戦略、 システム企画、 I Tコンサル テイング</b>	やってみよう！ITコンサルティング ～目指せ！ITコンサルタント～	IT戦略立案やIT企画を支援するITコンサルタントの養成を行うコースです。ITコンサルタントに必要な思考方法・知識・スキルやIT戦略立案方法の基礎を学びます。演習ではITコンサルタントに必要な思考方法を体験していただきます。	2
2		やってみよう！ITコンサルティング ～目指せ！ITコンサルタント～ <3日版>	IT戦略立案やIT企画を支援するITコンサルタントの養成を行うコースです。ITコンサルタントに必要な思考方法・知識・スキルやIT戦略立案方法の基礎を学びます。新入社員の方でも理解できるように用語の説明など、わかりやすく、ていねいに説明していきます。また、演習ではITコンサルタントに必要な思考方法を体験していただきます。	3
3		演習で学ぶ！IT戦略立案 ～体験しよう！ITコンサルタント～	IT戦略立案方法を事例演習中心に学ぶコースです。演習ではIT戦略立案の主要ステップを体験していただきます。	2
4		やってみよう！システム企画 ～システム企画の基礎知識～	システム企画方法、システム企画に必要な知識・スキル・方法を学ぶコースです。IT部門に対する企業内の期待で最も高いのがシステム企画です。しかし、システム企画のできる方はユーザ企業・IT企業ともに不足しています。 このコースでは、システム企画とは何かを理解していただいたうえで、システム企画方法、システム企画に必要な知識・スキルを理解していただくことで、システム企画力を育成します。	1
5		やってみよう！要求分析と業務プロセス設計	システム化において重要なのは、各種の要求をそのままシステムにすることではありません。重要なのは、要求内容を十分に検討し解決すべき問題点・原因を洗い出し、最適な解決策を立案したうえで、これを実現するシステムを使用した業務プロセスを設計することです。システムは新しい業務プロセスを実現するための手段です。このコースでは、要求分析と業務プロセス設計の方法を理解し実践するためのスキルを習得することを目的としています。	2
6		やってみよう！要求分析と業務プロセス設計 <3日版>	システム化において重要なのは、各種の要求をそのままシステムにすることではありません。重要なのは、要求内容を十分に検討し解決すべき問題点・原因を洗い出し、最適な解決策を立案したうえで、これを実現する業務プロセス設計することです。システムは新しい業務プロセスを実現するための手段です。 このコースでは、要求分析・業務プロセス設計の方法を理解し実践するためのスキルを習得することを中心に、2日版では触れていないシステム導入計画策定プロセスや要求分析・業務プロセス設計に必要な方法論以外の知識・スキルについても説明を加えており、システム企画全体に必要な知識・スキルを身に付けることができます。	3
7		クラウド時代のERP導入のポイント ～100%活用しよう！ERP～	クラウド時代におけるERPの特徴を100%活かした導入を行うためのポイントを習得していただくためのコースです	1

## I C T系研修コース一覧



No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
8	<b>営業・ マーケティング</b>	売れるIT営業になるための 科学的ワークショップ ～仮説思考を活用したターゲット顧客の設定から論理的なプレゼンまで～	企業を取り巻く環境はますます厳しくなる中、モノ余りの時代に入り、顧客からの提案依頼に答える提案や、顧客の顕在化した問題に対する提案をするだけでなく、顧客が気づいていない潜在化した問題の指摘、解決策の提案を行うことがIT営業には求められています。 このコースでは、受講者自身の会社の製品・サービスを売るために、仮説思考を活用した潜在化した問題を持つターゲット顧客の設定、記憶に残るセールストーク、論理的なプレゼンテーションができる売れるIT営業になることを目的としています。	2
9		やってみよう！ITコンサルティング営業	営業活動の中で、顧客の顕在化、潜在化している問題点を明確化し、原因の追究を行い、自社商品・サービスを核とした解決策を提案する営業の養成を行うコースです。ITコンサルティング営業に必要な思考方法・知識・スキルやITコンサルティング営業方法の基礎を学びます。演習ではITコンサルティング営業に必要な思考方法を体験していただけます。	2
10		営業力強化研修	営業力強化のためには既存顧客に対する深堀・拡大と新規顧客の開拓両面を考える必要があります。 既存顧客への営業強化に必要なのはアカウント・プランに基づく営業です。アカウント・プランを立案するためには、顧客の概要や販売実績、顧客と関係の整理だけではなく、顧客の経営課題の整理・体系化が必要となります。この研修ではフレームワークを活用した経営課題の整理・体系化方法を習得することができます。 新規顧客の開拓にはターゲットを絞り込んだアプローチが必要になります。この研修では、仮説思考を活用したターゲット顧客の設定方法を習得することができます。	2
11		採用される提案書を書く技術	IT案件を受注するためには、提案書は不可欠です。提案書が採用されないとIT案件を受注することはできません。顧客に採用される提案書を書くためには、顧客の提案書評価ポイントを理解したうえで、ポイントに合った内容を書く必要があります。この研修では、顧客の提案書評価ポイントを明らかにしたうえで、各ポイントの評価を向上させる方法を身に付けることができます。	2
12		SEのためのソリューション・マーケティング ～チームセリング（Team Selling）のための 顧客分析～	顧客の問題解決を図るソリューション・マーケティングを実践するためには、営業だけのマーケティング活動だけではなく、SEや経営陣を含めたチームセリングが必要となり、SEの方もマーケティング活動に参画する必要があります。この研修では、ソリューション・マーケティングに必要なチームセリングでのアカウント・プランの重要性、立案方法を理解し、アカウント・プランの立案に必要な顧客分析方法を習得することができます。	2
13		マーケティングの基礎知識	マーケティングに関する基礎知識を習得するコースです。 マーケティングの定義から、STP戦略、マーケティング・ミックス立案に必要な知識を習得します。	1
14		マーケティングの基礎知識と活用 <1社向け限定>	マーケティングに関する基礎知識を学んだうえで、演習で貴社のマーケティング戦略を立案してみることでマーケティング基礎を習得するコースです。マーケティングの定義から、STP戦略、マーケティング・ミックス立案に必要な知識を習得し、貴社のマーケティング戦略を立案します。	2

## I C T系研修コース一覧



No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
15	業務知識	ここから始める！システム開発者のための 業務知識基礎（会計編） ～業務知識不足を嘆く前に～	会計についてこれから学習する方を対象に、会計とは何かから、財務会計と管理会計の基礎知識を習得していただくことを目的としています。	1
16		ここから始める！システム開発者のための 業務知識基礎（販売・購買・在庫編） ～業務知識不足を嘆く前に～	販売・購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して、理解していただくことを目的としています。	1
17		ここから始める！システム開発者のための 業務知識基礎知識 （販売・購買・在庫・生産管理編） ～業務知識不足を嘆く前に～	販売・購買・在庫・生産管理業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して、理解していただくことを目的としています。	1
18		ここから始める！システム開発者のための 4大業務知識基礎 ～会計・販売・購買・在庫業務の基礎～	基幹系業務である会計・販売・購買・在庫業務についてこれから学習する方を対象に、各業務の流れや関連する用語など、基礎知識を習得していただくことを目的としています。	2
19		ここから始める！システム開発者のための 5大業務知識基礎 ～会計・販売・購買・在庫・生産管理業務の基礎～	基幹系業務である会計・販売・購買・在庫・生産管理業務についてこれから学習する方を対象に、各業務の流れや関連する用語など、基礎知識を習得していただくことを目的としています。	2
20		業務プロセス改革とシステム化 （会計編） ～改革しよう！会計業務～	会計業務および会計システムの概要を理解したうえで、会計業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得します。	1
21		業務プロセス改革とシステム化 （販売・購買・在庫編） ～改革しよう！販売・購買・在庫業務を～	販売・購買・在庫業務および販売・購買・在庫システムの概要を理解したうえで、業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得します。	1
22		業務知識の基礎と改革のポイント （会計編）	会計業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、会計システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得することを目的としています。	2
23		業務知識の基礎と改革のポイント （販売・購買・在庫編）	販売・購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、各業務システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得することを目的としています。	2
24		業務知識の基礎と改革のポイント ＜3日版＞	会計・販売・購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、各業務システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得することを目的としています。	3
25		ここから始める！システム開発者のため 銀行業務知識基礎	銀行業務についてこれから学習する方を対象に、銀行業務とは何かから、預金・貸付・為替（内国・外国）の3大業務の基礎知識を習得していただくことを目的としています。	1
26	ここから始める！システム開発者のため 損害保険業務知識基礎	損害保険業務についてこれから学習する方を対象に、損害保険業務とは何かから、損害保険業務の基礎知識を習得していただくことを目的としています。	1	

## I C T系研修コース一覧

No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
27	<b>ロジカル・シンキング</b>	ロジックツリーを活用したロジカル・シンキング ～ロジックツリーを活用して問題を解決する～	問題を論理的に解決するためのロジカル・シンキングを使えるようになるためのコースです。ロジカル・シンキングに必要な思考方法、代表的なツールの一つであるロジックツリーを使って、事例演習をすることでロジカル・シンキングの勘所をつかんでいただけます。	1
28		フレームワークを活用したロジカル・シンキング ～フレームワークを活用して問題を解決する～	ロジカル・シンキングの代表的ツールであるフレームワークを使えるようになるためのコースです。代表的なフレームワークをご紹介するとともに、事例演習をすることでフレームワーク活用のポイントを理解していただけます。	1
29		ロジカル・シンキング基礎	問題を論理的に解決するためのロジカル・シンキングを実際に使えるようになるためのコースです。ロジカル・シンキングに必要な思考方法、代表的なツールの一つであるロジックツリー、フレームワークを使って、事例演習をすることでロジカル・シンキングを使うためのポイントをつかんでいただけます。	2
30		ロジカル・シンキング応用 ～ロジカル・シンキングを活用した経営戦略立案～	ロジカル・シンキングを容易にするツールであるフレームワーク（SWOT、ダブルSWOT、バランス・スコアカード）を使用した事例演習により、経営戦略の立案を体験していただくコースです。	2
31		問題解決のためのロジカル・シンキング 基礎と応用 ＜3日版＞	問題を論理的に解決するためのロジカル・シンキングを実際に使えるようになるためのコースです。 ロジカル・シンキングに必要な思考方法、代表的なツールの一つであるロジックツリーを使って、事例演習をすることでロジカル・シンキングを使うためのポイントをつかんでいただけます。 また、もう一つの代表的なツールであるフレームワーク（SWOT、ダブルSWOT、バランス・スコアカード）を使用して、経営戦略の立案を体験していただくコースです。	3
32		問題解決と文章作成のための ロジカル・シンキング ＜3日版＞	ロジカル・シンキングは、コミュニケーション、文章作成、問題解決など様々な場面で使用することができます。このコースでは問題を論理的に解決するためのロジカル・シンキングを活用でき、わかりやすい論理的な文章を作成できるようになるためのコースです。 問題解決に必要な思考方法、代表的なツールの一つであるロジックツリー、フレームワークを使って、事例演習をすることでロジカル・シンキングを問題解決に使うためのポイントをつかむことができます。 また、論理的な文章の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができるようになります。	3

# ICT系研修コース一覧



No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
33	<b>論理的な ヒューマン・スキル</b>	論理的に話す技術	わかりやすく話すための技術を身に着けることができるコースです。論理的な話し方の基本テクニック、応用テクニックを学び、実践することで、論理的でわかりやすく話すことができるようになります。	2
34		論理的にプレゼンテーションする技術	聴き手にとってわかりやすい論理的なプレゼンテーションができるようになるためのコースです。プレゼンテーションは、聴き手に自分の提案を伝え、理解・納得・同意してもらい、提案に沿って行動してもらうのが目的です。そのため、聴き手が理解しやすく、記憶に残る内容、話し方が求められます。 このコースでは、論理的なプレゼンテーションに関する基本理論、技術を学んだうえで、実際に資料を作成し、プレゼンテーションすることで論理的なプレゼンテーション技術を習得することができます。	2
35		論理的に文章を書く技術	わかりやすい論理的な文章を書くための技術を身に着けることができるコースです。論理的な文書の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができます。	2
36		わかりやすい日本語を書く技術	日本語で、わかりやすい文章を書くために必要な技術を身に着けることができるコースです。日本語の特徴や日本文化の特徴から、文章をわかりにくくしている原因を理解し、解消策を学ぶことで、わかりやすい文章を日本語で書くことができます。	2
37		論理的に文章を書く技術 基礎と応用 <3日版>	わかりやすい論理的な文章を日本語で書くための技術を身に着けることができるコースです。論理的な文章の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができます。 また、日本語の特徴や日本文化の特徴から、文章をわかりにくくしている原因を理解し、解消策を学ぶことで、わかりやすい文章を日本語で書くことができます。	3
38		イノベーションのためのデザイン・シンキング	新たな製品やサービスを生み出すイノベーションが、いま企業で求められています。イノベーションを実現するための考え方として注目されているのが、デザイン・シンキングです。常に新しいデザインを生み出すデザイナーの考え方を企業のイノベーションに活用しようというものです。 このコースは、デザイン・シンキングのプロセス、メソッドを理解し、活用できるようになるためのコースです。	2

No	カテゴリー	コース名	研修概要	日数
----	-------	------	------	----

## <データ活用コンサルティング>

※下記の他、データベース構築からデータ活用やDWH構築に関して調査・分析・構築・移行・改善等の御相談を幅広く承っております。

### 1. データ活用環境構築コンサルティング

- ① データ活用現状要求調査  
現状のデータ活用状況とデータ利用部門(企画部門、営業部門等)のデータ活用要求を調査。
- ② 現状データ調査  
①の調査結果である現状のデータ活用(システム化/非システム化)とデータ活用要求に対応した内部および外部データを調査。
- ③ データ収集方式検討  
②の調査結果に基づいて収集するデータの整理とクレンジング方式を検討。  
データアクセスに必要となるメタデータ(データの属性、意味など)を整理。
- ④ データ蓄積方式検討  
③で収集されたデータを蓄積するためのデータモデル設計し、蓄積するデータを管理するDBMS、ツール類の選定をする。蓄積されてデータにアクセスするデータ分析・活用アプリケーションとのインターフェース(SQL、ODBC/JDBC、RESTなど)を決定。
- ⑤ データ分析・活用アプリケーション  
①の調査結果の現状のデータ活用とデータ活用要求に合ったツール類の選定。

### 2. データ管理全般の現状調査と改善提案

- ① データ品質管理、データセキュリティ管理、マスターデータ管理、メタデータ管理などのデータ管理機能の現状調査。
- ② ①の結果に基づいた改善提案。

## <データ活用系教育研修>

※下記の他、データベース、データ管理、データウェアハウス等について御要望に応じて各種の教育研修を実施可能ですので御相談ください。

### 1. データ活用に関連する基礎研修

- ① 「データベース技術の基礎」
- ② 「データベースシステム構築入門」
- ③ 「データベース技術の動向」
- ④ 「データベース・スペシャリスト養成」
- ⑤ 「データ・サイエンティスト入門」
- ⑥ 「企業情報システムとビッグデータの関係」

### 2. 研修「ビッグデータ活用を支えるデータ管理技術」

「ビッグデータ」は、情報システムを開発する側および利用する側にとって、最近、重要なキーワードになっています。しかし、その定義は、当事者、関係者により相違があるばかりでなく、その処理基盤についても、リレーショナルデータベース(RDB)をベースにしたビッグデータ対応機能、NoSQL、Hadoop、インメモリDBなど、様々な選択肢があります。このため、ビッグデータを対象にシステムを開発する場合、システム開発者、利用者の双方に大きな混乱を与えています。本講では、ビッグデータ処理の領域で最も重要な役割を果たすRDB技術、ビッグデータ処理向けに開発されたNoSQL、Hadoop、インメモリ処理技術について、機能概要、長所/短所、導入上の注意点、システム事例などを交えて説明します。

#### <プログラム概要>

1. ビッグデータとは?
2. RDBとビッグデータ
3. NoSQL、Hadoopとビッグデータ
4. インメモリ処理とビッグデータ
5. 今後のデータ管理基盤